

運営委員長 山崎和明氏 逝く

運営委員長代行 小久保 正

2020年8月29日、山崎和明氏は、家族以外の誰にも別れを告げることなく、地上の生涯を終えた。

2018年3月、長年務めた四国学院大学を後にして、滋賀県大津市に移り住んだ時、彼には大きな抱負があった筈だ。ようやく与えられた自由な時間を、長年研鑽を積んだ神学の集大成に用い、その成果を世に問いたいと思っていたに違いない。

しかし彼は、たまたま足を運んだ関西セミナーハウスで、活動センターの運営委員会に陪席することを求められ、1年後には委員長になることまで求められてしまった。前任委員長の残り任期の1年だけという約束だったが、それが終わるとあらためて2年任期の運営委員長に選ばれてしまった。彼は、研鑽の集大成を後回しにして、運営委員長の務めにまい進した。平和のための新しいプログラムを企画した。もみじまつりにドイツソーセージの屋台を出して盛り上げた。しかし、彼は運営委員長を引き受けた直後に、すい臓がんの診断を受け、手術を受けたのだった。周囲の者は予後を心配したが、彼はその後も疲れを見せずに、務めにまい進した。

彼の最大の関心事は、この神無しに見える世界で、神に聴き従いつつ生きるとはどういうことか、と言うことであった。彼は、それを彼が師事してやまなかったボンヘッファーから学び、その跡を継ごうとした。そのため彼は4度もドイツへ研鑽に行った。彼はその成果を若き友と共に分かち合おうと願って、この年5月から来年3月迄、毎月1回2時間、関西セミナーハウスで、最近ドイツで出版されたボンヘッファーの遺稿「倫理」の新版を読む会を企画した。来年3月には1泊2日のまとめの会を催した後、翻訳を出版することにしていた。去る4月には詳細なシラバスができ上がっていた。しかし、思いがけないコロナ感染症の広がりにより、その5月開講は9月に延期された。彼は、その開講の日を心待ちにしていたが、ついにその日を見ることなく、地上の生涯を閉じることになった。彼が生涯かけて追求したメッセージを聴く機会は、ついに失なわれた。彼は、こうしてドイツ解放の日をついに見ることなく地上の生涯を閉じた師ボンヘッファーに倣うことになった。

よろず相談

榎本 榮次

取りに行かずに 与えに行け
頼みに行かずに 助けに行け
教えに行かずに 聞きに行け

行き詰まった、どこかに利口な知恵はないものか
金に困った、うまい儲け口を探したい
孤立した、誰か救世主が現れないか

札幌の雪道で

吹雪の中、車が埋まってしまった

一人吹雪の中で途方に暮れた

車輪が空回りして動かない

横殴りに激しい吹雪

前を見ると同じように困っている車がいた

自分の車はあきらめて助けることにした

後ろからカー一杯押すと、車は動き出し、

広い道に走り去った

しばらくすると、その人が帰ってきて助けてくれた

教会が大変な状態に入っていた

どうしようか。夜逃げするしかないか

教会に「よろず相談」の看板を掲げた

実はこちらが相談したかった。

一組の夫婦が訪ねてきた

やくざに脅されている

夜逃げするしかない。助けてくれ、と

夜逃げを手伝った

達者にしているだろうか

こちらは夜逃げしなくてすんだ

あの「よろず相談」の看板はいま、世光教会の「ス・カサ」(あなたの居場所)にかかっている

「先生があんな看板を掲げるから、いろんな人が来て大変よ」Kさんから苦言を受けている。

ベトナム人のGさんが警察に捕まって訪ねてほしいと手紙がきた。

行くしかないか

Kさんと京都拘置所を訪ねた。

Gさんにこにこして元気そう。

「家族を助けてほしい」

何とか助けてあげたい。お祈りをして帰ってきた。

Iさんは若い頃、教会が楽しかった

夫婦で奉仕もできたし、献金もした

年老いて、夫が寝たきりになった。

自分も体が不自由になり、教会に行けなくなった。

たまに教会に行くと、元気で明るい役員が怖いと

言う。

コロナでみな教会に行けなくなって、パソコンで礼拝できる

二人で賛美歌を歌っている。

コロナのおかげ

関西セミナーハウスもコロナ禍で大変。どうしましょうか。

クリスマスご寄付のお願い

この度のコロナ禍により、今年度当初のプログラム予定の多くは、一旦見直しを余儀なくされました。一切中止の時期もありましたが、可能な形を模索して、オンラインも取り入れながら、実施できるよう調整してまいりました。直接話し合いの場を共にすることが、望ましいことは申すまでもありませんが、オンラインでつながることで、来場の困難な方、遠方の方にもご参加いただく機会ができ、選択肢が広がったのは、良かったことでもあります。当初のご案内からは、日程や開催方法を、変更することになりましたが、考えあうべきテーマを取り上げながら、今後も皆様とはなしあい、考えあう機会を提供してまいります。

どうかクリスマスの時期に、アカデミーならびに、当センターの活動を覚えていただき、ご支援のほどお願い申し上げます。

◎なお、当法人へのご寄付に対しては、税制上の優遇措置を受けられます。

◎ご寄付には、下記のいずれかの口座をご利用ください。

運営委員長代行 小久保 正

所長代行 榎本 栄次

・郵便振替 口座番号01020-1-5184 加入者 関西セミナーハウス活動センター

・銀行口座 京都銀行 修学院支店(コード0158 店番145) (京都銀行口座へお振込みくださる際は、メールなどでご一報ください)

普通預金 口座番号 3192884

口座名義 公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

関西セミナーハウス活動センター所長代行 榎本栄次

◇おさそい◇

★11月29日(日) 10:00~16:00

2020年度開発教育セミナー第5回(会場:京都市国際交流会館)

「これからの食と農のあり方を考える
～タネ・食卓・地域～」

講師:松平 尚也(農家ジャーナリスト・AMネット)

★12月13日(日) 開発教育セミナー第6回は、

講師の体調都合により、休会になりました。

投稿 京都俳句きらら会

- | | |
|--------------------|----|
| ・救急の待合室やうそ寒し | 星児 |
| ・雨上がり雲の切れ間に月浮かぶ | 虚舟 |
| ・山に浮く 浮月朱し夜明け前 | 周豊 |
| ・剥き難し されど美味いぞ栗ご飯 | 海菜 |
| ・あれやこれ 木の実でいっぱい幼の手 | 岳 |
| ・川霧の日の出待つ影 渡月橋 | 茶香 |
| ・夕日落ち 西山つつむ イワシ雲 | 枯骨 |
| ・木犀の香りマスクの中にまで | 公女 |

♡ありがとうございました♡

関西セミナーハウス活動センターへの
賛助会費・寄付金

2020.6.1-10.31 順不同・敬称略

大谷 光真、柳井 一朗、黒田 睦子、田辺 信子、長塩 滋子、平田 哲、東 千代、棟方 信彦、新宗連大阪事務所 橋本 浩志、春名 康範、西川 淑子、浅野 献一、島田 宗洋、鳴海 信子、奈倉 道隆、桜井 希、小笠原 純、宮本 桂子、株式会社こころ、佐野 千枝子、古賀 暢子、森口 克洋、南 和子、横田 穂美、八杉 恵、関西青年アシラム、手銭 秀夫、濱田 真奈美、菅 恒敏、小崎 眞、友前 尚子、田沼 大典、早川 良彌、山本 知恵、匿名、吉中 直子、網野 俊賢、丸山まり子、葛原 茂樹、酒井 涼子、田中 義信、金山 顕子、林 律、山添 みどり、和田野 勢津子、糸原 良禎・由美子、島田 恒、關岡 一成、織田 雪江、相浦 恵子、伊藤 正子、小久保 正、坪野えり子、京滋キリスト者平和の会、鳥井 清司、根岸 宏邦、丹野 きみ子、姫野 眞知夫、延原 正海、家形 日出、廣島 輝夫、滝澤 佐紀子、野田 純一、森口 克洋、斎藤 洋子、藤田 敦子、網野 俊賢、ハッチャー 保子、中村 信博、荒井 加代子、日本基督教団室町教会、山崎 陽子、都木かおり

四季だより

～庭紅葉の旬～

関西セミナーハウス庭園担当 榎 廣光

火恋しという季語がある。朝晩ぐっと冷えこみぬくもりが恋しくなる時季ということである。晴れた日の朝ぼらけ(夜明け方)、鴨川の刈りたての河川敷を踏みしめると冷気が首すじを刺す。思わず首をすくめた。もう立冬だ。たぶん気温は9℃前後だろう。人氣が少ないのにあたりが何か騒々しい。高さ25mはあろうかと思われるケヤキの大木のでっぺんに無数のカラスとその横の大木にもトンビ。さらに川州にゴイサギ。早朝から賑やかに合唱だ。



関西セミナーハウスにも「紅葉」の時季がきた。例年どおり。

丘陵地の下の方から望むと色づき始めたのがよくわかる。紅葉は気温8℃くらいに下がると色づき始める。見ごろはやはり第三週ころか。例年「旬」はさほど変わらない。

これまでだと、今のシーズン馴染みと思われる利用客が、日本庭園をゆっくり散策している姿をよく目にした。声をかけると東京や遠くは北海道、九州とか。また近所の方々も意外と多い。庭紅葉の穴場の存在だとか。ゆっくりと自分のペースで好きな時間を過ごせ、並ばずとも他人を気にせず癒やすことができるという。彩り鮮やかな紅葉も美しいが、一方、5月連休ころの新緑の青モミジも捨てがたい、昇る朝日を通して見上げる青モミジは生き生きとして躍動感がある。

今の時季は、紅、黄、青と色とりどりのモミジのじゅうたんを楽しめる。だが、中には老木も弱った木もあり、錆びたモミジの朽ち葉を目にする。これも時の移ろいかも。

関西セミナーハウスや一乗寺界限は、樹木、野生生物などでとても自然豊かである。このすばらしい「恵」と人との繋がりをいつまでも守り続けていきたい。